

# 第 5 学年 社会科学学習指導案

日 時 平成 19 年 11 月 28 日 (水) 4 校時  
児 童 盛岡市立太田東小学校 5 年 2 組  
男子 13 名 女子 10 名 計 23 名  
指導者 教諭 相原 伸裕

- 1 単元名 4 住みよいくらしと環境  
(1) 自然を生かしたくらし

## 2 単元について

前単元との関わりと本単元のねらい

本単元の目標は「我が国の国土の様子について理解できるようにし、環境の保全の重要性について関心を深めるようにするとともに、国土に対する愛情を育てるようにする。」と「社会的事象を具体的に調査し、地図、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、調べたことを表現するとともに、社会的事象の意味について考える力を育てるようにする。」である。

子供たちは、前単元「くらしを支える情報」の学習で、放送局の見学や情報の活用についての聞き取り調査などを通し、情報産業が国民の生活や産業活動にとって欠かすことのできない様々な情報を収集し提供していることや、それらの産業が国民生活の向上や産業の発展に大きな役割を果たしていることを理解してきている。

本単元では、沖縄県や北海道宗谷地方を取り上げ、我が国は南北に長く連なった島国であるため、南と北では気候に大きな違いがあり、人々の暮らし方にも違いが見られるといった、見方や考え方を身に付けさせるようにしたい。そして、我が国の国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連を持っていることを考えることができるようにさせたい。

### 教材について

沖縄県は、我が国の南西端に位置し、亜熱帯気候に属し、年平均気温は 17 以下になることはない。台風は年平均 7 回襲来し降水量も多い。このため沖縄の伝統的な家は、家の周りを石垣で囲み、防風林をそなえてあるなど、先人の知恵を感じることができる。現代の家は、コンクリート造りで、屋根には水不足に備え貯水タンクがある。

沖縄県の代表的な農作物はさとうきびである。全耕作面積の半分、全農家の約 3 分の 2 で栽培されている基幹作物である。しかし、近年は、その他に、菊、洋ランなどの花き、マンゴーなどの熱帯果物などの栽培も盛んになってきている。水産業はかじきまぐろをとる漁がさかんである。一人で船をこぎ出してとる伝統的な漁である。かじきまぐろには体重 100 kg にも及ぶものもあり、厳しい仕事である。両産業とも、高齢化や後継者不足など問題を抱えている。

那覇市から直線距離で 500 ~ 1000 km 圏内には、台北(台湾)、上海(中国)、釜山(韓国)が入り、東京が 1000 km 以上離れていることから、隣接する国が近いことがわかる。沖縄県にあるアメリカ軍基地は、日本にある約 4 分の 3 が、沖縄県に集中している。基地に隣接してくらす住民は、誤射や軍人による傷害事件など常に危険に脅かされている。

宗谷地方は、北海道の最北端に位置する。気候は暖流が流れ込むため、沿岸部は内陸部より比較的温暖であるが、内陸部では冬季に氷点下 20 以下になることもある。そのため、野菜類は凍結して食べられなくなるため、凍らせないために冷蔵庫を使用する。家の造りは、二重窓、二重の玄関(風除室)、大量の断熱材など寒さを和らげる工夫がなされている。

宗谷地方は、酪農が盛んである。夏気温が低く、乳牛の病気を抑え、乳質も下がりにくいいためである。牧草を刈ったり、乳牛を放牧する広い土地があるのも酪農が盛んな理由である。水産業は、毛ガニ、うに、昆布などの漁が盛んで、全国でも有数の水揚げ量をほこっている。強風や荒波、寒さ等、厳しい自然環境下での仕事であるが、とれた水産物は味もよく人気が高い。

宗谷地方は、北 43 km にロシア領サハリンと接している。札幌より近いことから、近年、稚内とサハリン州の小中学生数十人が相互訪問しホームステイをしながら交流を深めている。しかし、ロシアとは北方領土の問題がまだ解決されずに残っている。

沖縄県や宗谷地方のように気候条件から見て特色ある地域の生活の様子や産業などを取り上げることで、住んでいる人々が自然環境に適応しながら生活していることを具体的に調べることができる教材である。

#### 児童の実態と指導観

子供たちの中で、沖縄県に行ったことのある児童は 2 名いる。北海道は函館や札幌までは行ったことがある児童はいるが、北部の宗谷地方まで行った児童はいない。また、沖縄県や北海道は観光地であることは知っているが、知識は断片的で、それぞれの自然の厳しさ、そこに住む人達のくらしまでは、考えたことはない。

資料活用の能力については個人差が見られる。写真やビデオなどの資料は教科書や資料集に多く掲載され、授業の導入などで使われることが多いことから、多くの児童が読み取りできている。しかし、グラフや統計地図、読み物資料の活用となると、普段の学習で扱うことがあまりしてこなかったため、読み取ることを苦手としている児童は多い。

そこで、単元の指導にあたっては、事前に北海道や沖縄県のことについて、インターネットや学校の本などを利用し、自分が興味ある部分を調べさせ、できるだけ両地域を身近に感じられるようにする。さらに単元を「気候や土地」、「家のつくり」、「農業」、「水産業」、「自然や文化」、「人々の願い」といった比較の視点を明確にして学習を進める。そのため、導入場面では、課題意識を高める資料を提示する。展開場面では、一人一人が授業に参加している意識を持たせるためノートに予想を書かせ、教科書や資料集等を活用し課題解決を行う。発表場面では、考えの根拠を持った発表させる。その後、教師側で補足となる資料等を提示し、社会的事象を具体的に捉えさせる。最後にノートに今日の学習で分かったこと、授業の感想という視点で書かせ学習のまとめとする。

資料活用の手立てとしては、前時まで活用した資料を教室脇に掲示し、児童が考える際の根拠として活用できるようにする。また、読み取りが苦手と思われる資料は、再度読み取り方を確認し授業を進めたい。

このような、問題解決的な学習をとおして、それぞれの地域の自然環境や人々のくらし、産業等、具体的に捉えさせるとともに、資料活用の能力、思考判断する能力を高めていきたい。

### 3 単元の目標

日本の国土や自然条件の異なる地域の様子、自分たちと自然環境との結びつきについて関心をもって調べようとする。

(社会的事象への関心、意欲、態度)

自然環境に適応してくらしている人々の工夫や願いについて考えたり、国土の自然環境を守っていくためにはどのようなことが大切か考えたりすることができる。

(社会的な思考、判断)

国土や地域の自然環境に関する資料を目的に合わせて収集・選択し、自然環境と人々の生活や産業にはどのような関わりがあるのかを読み取ることができる。

(観察・資料活用の技能、表現)

国土の自然の特色や気候条件の異なる地域の様子をとらえ、自分たちのくらしと自然環境が深く結びついていることがわかる。

(社会的事象についての知識、理解)

### 4 指導計画 指導構想表 参照 略

## 5 本時の指導

### (1) 目標

宗谷地方や沖縄県の家づくりについて、その特色を気候や自然条件を関わらせて考えることができる。(社会的な思考・判断)

宗谷地方や沖縄県の気候に合わせた家づくりを資料から読み取ることができる。(資料活用の技能・表現)

### (2) 具体の評価規準

	具体の評価規準	評価場面 (方法)	十分満足にできる A	おおむね満足 B	Cの児童への支援
	宗谷地方と沖縄県の家づくりについて、その特色を気候や自然条件を関わらせて考えることができる。	予想の場面やそれぞれの地域の家づくりを考えている場面 (挙手・ノート)	それぞれの地域の家が気候に合わせた工夫やくらしの知恵によってつくられていることに触れて考えている。	それぞれの地域の家づくりについて考えている。	気候の特色、自然条件の特色を補足説明し、イメージを持たせる。
	宗谷地方や沖縄県の気候に合わせた家づくりを資料から読み取ることができる。	予想の場面や家の造り考える場面 (挙手・ノート)	自分の言葉でまとめたり根拠をもって表現することができる。	資料に書いてある工夫をみつけて表現することができる。	資料を読み取る視点を具体的に指導する。

( 3 ) 展開

段階	学習活動と内容	指導上の留意点	資料等
問題の把握 5分	<p>1 実物資料が何か考える。</p> <p>2 学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">宗谷地方や沖縄県の家を調べよう。</div>	<p>・ 答えが分からない場合は学習の中で確認していく。</p> <p>・ 提示した資料が家の一部であることを話し課題へとつなげる。</p>	<p>・ 断熱材</p> <p>・ 漆喰</p>
問題の追究 35分	<p>3 宗谷地方の家のつくりを考える</p> <p>4 宗谷地方の家をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">寒さに負けない工夫</div> <p>5 沖縄県の家づくりの工夫を予想する。</p> <p>6 沖縄の家を調べる。</p> <p>7 調べて分かったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大きな木で囲む</li> <li>・ 家の周りに石垣</li> <li>・ かわら屋根 等</li> </ul> <p>8 沖縄県の家づくりの工夫を深める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 台風にも負けない工夫</li> <li>・ 暑さにも負けない工夫</li> <li>・ 水不足にも負けない工夫</li> </ul> </div>	<p>・ 家パズルを提示し、気候に合わせた家のつくりを児童と一緒に考える。</p> <p>・ 宗谷地方の家づくりの工夫を教科書で確認する。</p> <p style="text-align: right;">( 評価規準 )</p> <p style="text-align: right;">( 評価規準 )</p> <p>・ 前時学習した「沖縄県の気候」を根拠に考えさせたい。</p> <p>・ 伝統的な家の写真を提示し、写真から工夫を見つける。</p> <p>・ 机間指導しながら調べる方法が見つからない児童には助言する。</p> <p>・ 児童が調べたことをそれぞれの工夫ごとにまとめる。</p> <p>・ 最初に提示した資料が漆喰であることを知らせる。</p> <p>・ 沖縄県の今の家については、軽く触れる程度とする。</p> <p style="text-align: right;">( 評価規準 )</p>	<p>・ 家パズル</p> <p>・ 伝統的な家の写真</p> <p>・ 教科書</p> <p>・ 資料集</p> <p>・ 琉球瓦</p>
まとめ 5分	<p>9 本時の学習課題をまとめる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">宗谷地方や沖縄県の家は厳しい気候に合わせて家をつくっている</div>	<p>・ 本時の学習のまとめをノートに書かせる。</p> <p style="text-align: right;">( 評価規準 )</p>	<p>ノート</p>